



思いが実を結ぶ体育祭に…

9月になって、久々に教室に子供たちの元気な声が戻ってきました。今日まで連日の残暑の中、体育祭に向けて準備を行ってきましたが、いよいよ明日、体育祭本番を迎えます。

先日の台風15号の残した爪痕は大きく、本校も多くの樹木の枝が折れたり、中には斜めに傾いて電線にかかったりした木もありましたが、運良く施設・設備に大きな被害はありませんでした。しかし、県内にはまだ電気や水道が復旧していない地域も多く、中には体育館の屋根が剥がれるなどの大きな被害を受けて、現在も休校している学校もあると聞きます。幸い、本校は明日、予定通り体育祭を行うことができそうですが、今回被災した地域の日も早い復旧を祈るばかりです。

さて、明日は8:40から開会式ですが、体育祭の開会式には独特の雰囲気があります。開会式は、今日一日頑張るぞ、という生徒の意欲で満ちています。私は、開会式の緊張感のある空気が大好きです。競技に懸命に取り組む子供たちの姿はもちろんですが、開会式独特の張り詰めた雰囲気も、普段の生活の中ではなかなか見ることができないものです。開会式での生徒会長の挨拶や、代表生徒の選手宣誓も、ぜひご覧になっていただきたいと思います。準備体操も実行委員の指揮で全校生徒がグラウンドいっぱいに広がり、大きな声をかけながら行います。1000人を超える生徒が、気持ちを一つにして体操を行う光景は圧巻です。

各クラスの体育祭実行委員は、8月30日に集まって打ち合わせを行い、今日まで各学年のリーダーとして活動してきました。特に3年生の実行委員は、開会式・閉会式はもちろん、全体の進行を取り仕切って、今年の体育祭を成功裏に終わらせる重責を担っています。

そして、閉会式では実行委員長長の挨拶があります。体育祭の最後に実行委員長長の山本竜磨君(3-2)が、今年の体育祭を振り返ってどんな話をするのかも、とても楽しみです。

本校の体育祭の大きな特徴として、各クラスでこの日のために制作した「学級旗」があります。この旗は各学級の有志が思いをこめて制作し、体育祭当日に使用して、体育祭後も多くの学級旗が教室に掲示されます。体育祭の準備では、この他にも大勢の「有志」の活躍がありました。スローガンの横断幕は今年も美術部が、入退場門は美術部と技術工作クラブが、得点板は技術工作クラブと学習委員と女子バレー部が、それぞれの活動の合間を見つけて、夏休み前から制作してくれました。

もう一つ、1組の生徒が会場のテントを立ててくれたことも紹介したい有志の活動です。有志とは「志」…「思い」がある者のことを言います。それぞれの有志のみなさんに感謝するとともに、明日の体育祭が一人一人の思いが実を結ぶ体育祭になることを信じています。

